



## 『小学生・中学生を対象とした地域の実情を踏まえた体験活動事業』実施報告書

### 1、概要

本所施設に隣接する荒代海岸でのマリンウォッチング、ビーチコーミング、漂着物を活用したクラフト、ナイトマリンハイク等、目的に合わせた様々なプログラム高背による活動を行った。

- 協力 江田島市教育委員会 大柿自然環境体験学習交流館「さとうみ科学館」 江田島小学校（校長会理事会）  
ひろしまNPOセンター 株式会社エデュ・アクティベーターズ
- 期日 令和3年11月6日（土）／11月1日（月）・11月10日（水）・11月16日（火）
- 参加人数 教育事業9名／マリンウォッチング55名／ナイトマリンハイク33名（事前活動のみ実施）／ビーチコーミング94名

### 2、活動内容

実施日	活動内容
11月1日(月)	マリンウォッチング(小学校)
11月6日(土)	教育事業「海のふしぎ発見隊」ビーチコーミング／マリンウォッチング／ナイトマリンハイク
11月10日(水)	ナイトマリンハイク(小学校)
11月16日(火)	ビーチコーミング(小学校)
12月21日(火)	実行委員会

### 3、参加者の声



#### 【「海」について不思議に思うこと】

- ・「水質が良い」とはどういうことか。
- ・魚からみたら、どんな海が一番きれいか。
- ・プランクトンは何を食べているのか。

#### 【未来の海へ】

- ・青く透き通って魚がくらしやすい海がいい。
- ・自分たちが入りたいと思う海がいい。
- ・人がたくさんいて、楽しかったと思える海がいい。

#### 【活動して気づいたこと】

- ・マリンウォッチングでは、生きものの形、色（透明な生物もいる）、特徴に着目して発表しました。
- ・ビーチコーミングでは、漂着物を収集して分別するとき、自然のもの、植物・生物、加工している物に着目して分けました。
- ・新しいふしぎを見つけました。

#### 【指導者から】

- ・（海岸で）ゴミが予想以上にあったことに（児童が）驚いていた。また、なぜ、こんなにゴミが流れ着いたのか真剣に考えていた。教室で考える以上に実際の海で発表に環境問題についてし合うことができた。

#### 【実行委員会 意見要旨】

- ・目的に合わせた活動を考え、プログラムを構成していくことが大切である。
- ・専門性よりも、どのように参加者と考え、解決する方法を学ぶかが重要である。
- ・活動の意味とねらいを明確にし、内容を焦点化することにより、体験活動の意味が深化する。
- ・SDGs-No.14だけでなく、様々な視点で活動できることをアナウンスした方がよい。